

振り返りを楽しみ、明日を見つめる

2015年も残りあとわずか。旧暦で11月は霜月と言われ、道行く木々や草花に霜が降りる月です。冷え込みが進み、冬の気配が感じられるようになります。何かと忙しい12月を前に、今年を振り返り、来年の計画を立ててみてはいかがでしょうか。

振り返るときに便利なのが手帳です。今年のものだけでなく、過去の手帳もさかのぼって見てみると、色々な記憶が甦ります。様々な文具を使って手帳を自分なりに彩ると、予定が見やすくなるだけでなく、手帳に対する愛着もわきます。毎年お気に入りの手帳を買い続けたり、発売される多くの種類の手帳から好みのものを探したりすることも楽しみの一つですね。

読んだ本を記録しておき、一年の節目に振り返ってみることも面白いものです。本の感想だけでなく、その本を読んでいた時の状況や気持ちなども同時に思い出されることでしょう。

今年を振り返って、来年の目標や計画を立てたら、できれば確実に実行したいもの。3日坊主になったり、なかなか続けられなかったりすることも多いかもしれませんが、今度こそという目標がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。実現に向け計画を立てるために、成功した人や自分が目標とする人の本も参考になりますし、計画の立て方や発想のヒントになる本もあります。

1年の締めくくりを前に、過去を見つめ、明日に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



『やわらかい頭の作り方』
細谷 功/文
ヨシタケ シンスケ/絵
筑摩書房
141.5 ホ



『百歳の力』
篠田 桃紅/著
集英社
H728.2 シ



『手帳事典』
日本手帖の会/監修
玄光社
K589.7 テ

誰にも「考え方の癖」があり、自由な発想が妨げられている。自分の「常識」や「価値観」や「見方」が絶対でないことを知り、創造的思考を広げるヒントを紹介。

「常識の世界に生きなかつたから長生きできた」「人生というものをトシで決めたことはない」。百歳を過ぎた今でも現役で活動続ける美術家・篠田桃紅が、年齢に関係なく、いつまでも第一線で活躍するための秘訣を語る。

自分のライフスタイルに適した手帳が発見できる一冊。商品名、特徴、手帳データ、収納されているコンテンツのほか、実物大写真とともに達人ならではの使い方や、通常とは異なる使用法などを紹介する。

<図書館カレンダー>

※毎週**火曜日**は休館日です。

※開館時間

10:00~20:00

※**12/29(火)~2016/1/5(火)**

は年末年始のため休館します。



11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

10/27(火)~11/9(月)は、読書週間です。

田川誠氏 トークイベント「不器用に丁寧に歩み続ける力」

ほか関連イベント

長崎市立図書館の1階「カフェ&レストラン池田屋」で9月26日(土)、長崎出身の画家・田川誠さんのトークイベント「不器用に丁寧に歩み続ける力」を開催しました。田川さんの作品制作にかける思いをはじめ、作品集『月と猫』を出版するにあたって用いたクラウドファンディングについてもお話しいただきました。クラウドファンディングは必要な資金を賛同者から募る資金調達方法の一つで、団体に限らず個人でも参加することができるため、現在さまざまな分野で注目されています。

当日は『月と猫』の発行人である深澤慎也さんとのトークセッション形式で会が進行し、田川さん、深澤さんとの交流の時間も設けられました。田川さんの絵や長崎に対する思い、出版に至るまでの苦労とそのなかで人との出会いに支えられたことなどが率直に語られ、みなさんお話を聞き入っていたようでした。お二人の優しくおだやかな人柄もあり、終始和やかな雰囲気に包まれたイベントとなりました。

また、このイベントに関連して、9月2日(水)から28日(月)の期間には、田川さんが制作された作品等の展覧会を、26日(土)には親子で月の絵を描くワークショップも実施しました。

たくさんのご参加ありがとうございました。



ワークショップ



トークイベント



展覧会



としょコン「長崎市立図書館で、恋活しましょ」



10月3日(土)、「としょコン 長崎市立図書館で、恋活しましょ」を開催しました。長崎市内の25歳から30代の未婚の方を対象に募集・抽選し、当日は男女合わせて23名の参加でした。

恋をテーマにした「ブックトーク」で本との出会いも楽しみながら、普段入ることのできない図書館の裏側を巡った後、長崎市立図書館1階「カフェ&レストラン池田屋」にてお食事をしながら交流を楽しんでいただきました。はじめはとても緊張していたみなさんも、ミニゲームやおしゃべりで盛り上がりからは笑顔の絶えない様子でした。最後のカップリングでは、1組が成立！参加者の方からは、「思い切って参加したが、楽しかった」、「次回があれば、絶対に応募してまた参加したい」といった声をいただきました。みなさん、楽しいひとときを過ごしていただけたのではないのでしょうか。ご参加いただき、ありがとうございました。





「ふるさと」を想う

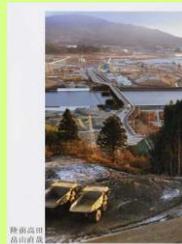
「ふるさと」という言葉を聞いて、あなたの胸をよぎるものは何ですか？生まれ育った土地の景色、懐かしい日々の思い出、それらはいつも自分の根底にあり、心が揺らぎそうな時に支えてくれる存在であるように思います。

辻村深月さんの著書『島はぼくらと』は、瀬戸内海の小さな島を故郷に育った4人の高校生と、彼らの周囲に暮らす島民の物語です。いずれは故郷を去る人、故郷に住み続けなければならない人、故郷を飛び出した人……この作品には、自らの故郷と向き合う様々な人の姿が描かれています。故郷があるからこそ生じる幸せと葛藤が胸に迫る1冊です。

もしかけがえのない自分の故郷が、ある日消えてしまったら……。『陸前高田 2011-2014』は、陸前高田市出身の写真家・畠山直哉さんによる写真集です。畠山さんは、東日本大震災の大津波によって、故郷の町並みや人々が奪い去られた衝撃と無力感に苛まれながらも、その光景にカメラを向け続けました。荒れ果てた地に人の手が加わって少しずつ変化していく様子が、71点の写真に収められています。多くの人が故郷を失ったあの災害を、悲しみの中で立ち上がった人々の強さを、私たちは忘れてはならないと強く感じます。
(司書：石井 陽子)



『島はぼくらと』
辻村 深月/著
講談社
Y913.6 ツジ



『陸前高田 2011-2014』
畠山 直哉/著
河出書房新社
2階一般 748ハ

ふるさとの風景

「ふるさと」、この言葉にふれる時、私は懐かしいふるさとの風景を思い描きます。

最初にご紹介する本『私だけのふるさと』は、多彩な顔ぶれの人気作家40名が、自らのふるさとへの思いや、ふるさとが書き手としての自分に与えた影響などを語った回想集です。作家の言葉で語られるふるすとは、その風景が鮮やかに広がります。長崎市出身の作家・吉田修一さんのエッセイもありますので、ぜひ読んでみてください。

次にご紹介する本は『ふるさと切手+風景印マッチングガイド』です。みなさんは「風景印」をご存知ですか？全国の郵便局のうち約1万1千局に配備されている記念印(消印)の一種で、その地域の名所旧跡等にちなむ図柄が描かれているのが特徴です。「ふるさと切手」もまた全国の郵便局で発売されている記念切手の一つで、その土地の風景が描かれています。この本は収集家の間で注目されている「ふるさと切手」と「風景印」のマッチング収集を楽しむためのガイド本です。あなたの懐かしいふるさとの風景がこの中にも描かれているかもしれません。探してみたいかがでしょうか。
(スタッフ：本村 弘子)



『私だけのふるさと』
作家たちの原風景』
毎日新聞夕刊編集部/編
須飼 秀和/画
岩波書店
F914.6 ワタ



『ふるさと切手+風景印
マッチングガイド(1・2巻)』
古沢 保/著
日本郵趣出版
2階一般 693.8フ

図書貸出券には有効期限があります

長崎市立図書館では、登録内容の確認のために3年に一度更新手続きを行っています。

- ・登録された日以降の誕生日から3年2ヵ月後に期限が切れます。期限が切れた貸出券も、更新手続きをすれば引き続きご利用いただけます。
- ・有効期限の6ヵ月前から、貸出時に発行するレシートに有効期限を記載いたします。また、有効期限の2ヵ月前から、カウンターで更新のご案内をいたします。
- ・更新手続きは誕生日から有効期限までの2ヵ月間に行ってください。
- ・更新手続きには申込書の記入と、住所・生年月日が確認できるもの(免許証や保険証など)の提示をお願いいたします。(小学生以下の方は申請書の記入のみ)
- ・旧貸出券も新しい図書貸出券への切り替えを行ってください。
- ・有効期限が切れた図書貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。

南公民館図書室の休室に関するお知らせ

南公民館図書室のエレベーター工事のため、図書室が平成27年11月1日から平成28年2月末まで休室いたします。ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

図書館テレビ

毎月1回月曜日、午後6時20分～午後7時
NHK 総合「そこが気になる」のコーナーで放送中！

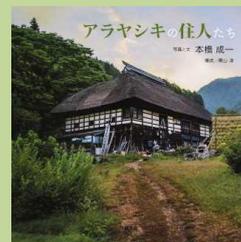


『かわいい仏像
たのしい地獄絵』
須藤 弘敏/執筆
矢島 新/執筆
パイインターナショナル
718.3カ

みちのくの菩薩たち、山の神と仏、素朴な十王図…。ときに不恰好で、ときに粗雑にも見え、ときにかわいくもある仏像や地獄絵を写真とともに紹介。一般にはほとんど知られていない、近世につくられた庶民的な宗教美術を扱う。

図書館ラジオ

毎月第2金曜日午後2時、
長崎シティFM (81.3MHz) 「ウィーパラライブラリー」で放送中！



『アラヤシキの住人たち』
本橋 成一/写真と文
農山漁村文化協会
児童 369モ

ハンディキャップをもつ人たちと、そうでない人たちがともに働き、ともに学ぶ「共働学舎」。長野県小谷村の真木集落で暮らす個性あふれる彼らの四季を描いたドキュメンタリー写真絵本。

予約ランキング ※ 予約が集中している本は数ヵ月お待たせすることがあります。予めご了承ください。

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
1	火花	又吉 直樹	文藝春秋	694
2	ラプラスの魔女	東野 圭吾	KADOKAWA	387
3	フランス人は10着しか服を持たない	ジェニファー・Lスコット	大和書房	298
4	サラバ! (上)	西 加奈子	小学館	286
5	鹿の王 (上)	上橋 菜穂子	KADOKAWA	222

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
6	流	東山 彰良	講談社	196
7	あの家に暮らす四人の女	三浦 しをん	中央公論新社	181
8	リバース	湊 かなえ	講談社	173
9	教団X	中村 文則	集英社	170
10	マスカレード・イブ	東野 圭吾	集英社	154

(2015年10月15日現在)